(草宮相以下を贈べさせられて午前十一時十分宮城) 皇陛下には御軍裝御凛々しく、百武侍從長御陪驅

時れやかに拜し奉つたが兩陸下れて御五年振りの御會見に固い

京あらせられた廿六日米内 とさせられて御恙なく御入 えさせられて御恙なく御入

は天青でなるとは音になるとは音にといることは音になるものである。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。一般である。

大久保市長等端大久保市長等端大久保市長等端大久保市長等端大久保市長等端大久保市長等端大人保市長等端本山には近衛にも創沙汰に依ち

の御様子もあらせら

溢れる、やがてこの日御沙汰により御出迎へのに中央に赤い絨氈が延べられ、旣に瑞祥の氣に

州分滿州國々歌吹奏裡に御召列車はごるが如く入構 おたが、御少憩の御後平山東鐵局長御先導申上げて お代奏樂裡にホームに出御、各皇族方の上位に着 かせ給ひ、蘭然たる緊張の裡に御待ちあらせられた でがて體砲は殷々として帝都を壓する、午前十一時 では、一旦松之間に入らせら

萬件

一易

緊密

を罪じ米內首相謹話

御五年振

御對面

交聽を盡させられて御盛儀彌高く尊き裡に御使命を果させられ下と公式の御會見を遊ばされ、建國御創業若き滿洲國の元首皇

展りに帝都に御一步を印させ給ひ御濱御入港、午前十一時州分萬民歡迎〕 悠久紀元二千六百年、慶祝譜最高

皇帝陛下にはころに肇國悠遠の日本聖代を御慶祝、日滿一體の御に御參入、晴れの御使命御めでたく鳳凰間にて 天皇、皇后兩陸儀禮に御感一入の御面持にて 天皇陛下と親しく御握手遊ばされに畏くも 天皇陛下の東京驛頭御出迎へを受けさせられ晴れて御燦然として東亞を光被する二十六日、滿洲國皇帝陛下には八重の燦然として東亞を光被する二十六日、滿洲國皇帝陛下には八重の

東京驛頭瑞祥漲る

陛皇

畏

月六 日六十 金色紅色

設行所

、も御出迎

清酒級 洲

赤坂離宮

ろなる御交騰しばしの 岩村御用港の御道譜に

魔宮に入ら

新春 章 人人人 水越內之介 水越內之介 ti al

び流れるなかを雨陸下

らせ

精神を

れ去る六月二十六日正午 加去る六月二十六日正午 加ま帝陛下には盟邦 か皇帝陛下には盟邦 の紀元二千六百年 かま帝陛下には盟邦 駐日

新京御發 天皇陛下より特別の外御麗しく直ちに御入京かの御渡れもなく御機嫌殊かの御渡れもなく御機嫌殊がの外御麗しく直ちに御入京が外側では、前程

日滿

易場新制度 政府當局準備に萬

禁絶に大衝動 重慶の抗戰力喪失

の回れ轢駁り驚英決鑑 とのがはを非明國定み 解否則不受友し政し右

人事往來

(東方文化研育) 同 (東方文化研究所) 同

國家の礎石に

を陶冶養護

至高の御交 糖を遊ばされ 后兩陸下に御會見御慶祝に

陛下には御軍裝御

問、御順路市民の熟誠に應 から晴れて御参入あらせられた、これ より先き長くれた、これ より先き長くれた、これ より先き長くる 天皇陛下には御軍装の場 変なく、御事寄まで御

整下には午後二時大内山の 東一入磯く映えて劉晓たる 東川に敬意を表し奉る裡に 東上げ御参進、天皇陛下御 北平式部長官御先導 市上げ御参進、天皇陛下御

心とする敵は接蔣ルー 傷を遮る のなき 黄土のなき 黄土の

に敗敵を追つて廿五日正午に猛進中で、また森本、高橋、

には水陸交通の要點北江田村の各部隊は敵が破

断を恐れ道路を破壊、

(思樂西方十五キロ)を陷れ破竹の勢をもつて佛印閣境した道路を修理しつ→廿四日に滁(南寧西南)を占領更死の抵抗を續けつ→あり。○○部餘はこれを撃破しつつ代も思樂縣域(南寧西南方百廿キロ)を占領、龍州を中

皇帝陛

城御參7

國境

迫る

皇軍

新銳部隊猛進

六百年を慶祝せられんせられてはわが紀元二

請

至高の御使命果せらる

は、 ・ 人達は只像給とか待遇 ・ 大きなに大事な將來の擔 ・ 大きなだけでなし ・ 大きなだけでなし ・ 大きの若 日本では厚生省が體力法 は非常に沿されと同じたるるとになると関いて、 満洲関に於ても失いと思ふなけ方のであるか、これに対して、 大のであるが、これに対してであるができるか、これに対しても失いと思ふなけ方のであるが、これに対しても失い。

とは非常に結構なこと

田村

仙定

ラデオで拝職する國務院總理 ラデオで拝職する國務院總理

官廳 るやらになった ふのであ るが、

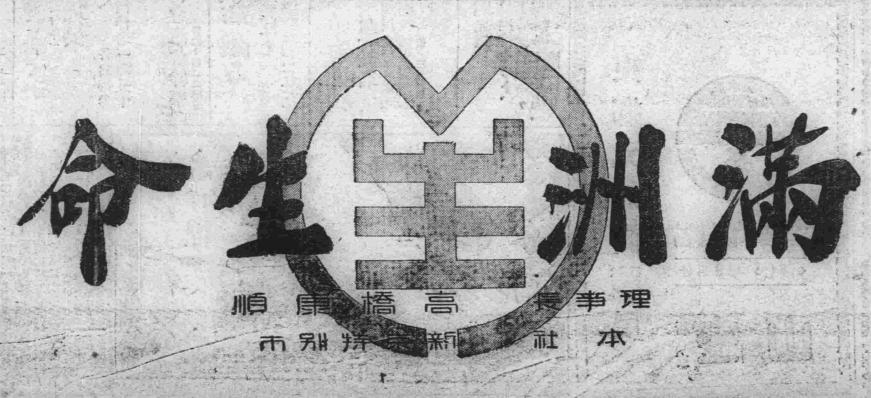
電業社長に 韓雲階氏就任 新舊社長事務引繼

任式を舉行、加伐文書課 の開會の蘇についで山崎 社長より韓新社長の紹介 行ひ韓社長の就任挨拶、

大月の薫風のなかに仰ぎ拜六月の薫風のなかに仰ぎ拜

陸海の武官佛領印度支那







元大使謹話

一五日より廿八日迄十四日間 に亘る大同學院教官 よる で行はれてのる選化省下農 菅原大同學院生徒に依つ で育成和での教育は廿八日 で原大同學院生徒に依つ で記述の職定である

體不可分

香港ル

事長)同 ・テル本館 ・テル本館

▲ 善生永助氏(東京官吏) 同櫻ホテル本館 合理事長)同 一 一 高脚清治氏(哈爾濱官吏) 同 同副永吾一氏(前負業)同

その日く

天皇陛下親しく御出迎へ 天皇陛下親しく御出迎へ

國務院會議の午食は早くものが興亜の心構へとあつてのが興亜の心構へとあつて

高楽となりである。高楽となりの食堂でも大臣達に代用食の試食會にもなりさらな折から國務院食堂は此處にた。回路に大きかへられた。一般をは、四級を関係に大きかへられた。四級を大臣達に負けたが、回務院食堂は此處にた。一般を大いて國政運用の領領を大いて國政運用の領領を大いて國政運用の領領を大いて國政運用の領領を大いて國政運用の領領を大いて國政運用の領領を大いて國政運用の領域を対し、

からなことはなく、中々美味 かなのでお役人一同カナリヤ しのやうな活 波 みを打つて でこれでこそ興亜の腹ごし 月の中分位は栗飯をつづけ るといふ

六月二十八

・二十九・

三十日

於

Ξ

中

井

百

店

五

階

能生後四時半 一個生後四時半 於國防

たのでこれを同君に送附し上半期分の質異を支給し上半期分の質異を支給してあるが、し上半期分の質異を支給した。

しし對が震面

た所が「第一線に活躍しては電民教育費にあてて下さい」と送附された八十圓をその健本社に返送して來た身は第一線にありながら

村満日文化協會主事などの は鹿爪らしくエタイのしれ (十) ビル四階會議室で 人交つて石鹸の固り片手に 大変ので石鹸の固り片手に がいます おいます おいます は 一人 がいます おいます は いっぱい 大変 は に いっぱい 大変 は いっぱい 大変 は いっぱい かいます は いっぱい は に いっぱい は に は は に いっぱい は いっぱい は

彫塑のお稽古

起す珍量が雨雲

調智だから

山藤大和五伯仍足

泡も出さうな珍風景寫真

(最) 1位はつくれるやりになりませら」との講師で一同たいした乗氣で製師に一同たいした乗氣で製作に精進してゐた、なほ講師也との書して土俗藝術の振興に養してなる。

鑑査▼新美術家協會々員▼▼帝展招待展出品▼文展無

SP 字晚 S 放送

本部午後一時 於首都

目 於首都本部午後一聯議案整理委員會第二

水會賞受賞
▼昭和十四年

高一安連謙蔽 Aへ・三〇(新京) ・三〇(新京) ・三〇(新京)

IE

確本位

書面にて

御申は必

のず

清州國皇帝陛下におかせられては元監察院長勳一位 推議振玉氏生前の勳功を思召され、御使御差遣の御 前に於て薛文及び祭祀寿御下賜の有難き御沙汰を傳 前に於て薛文及び祭祀寿御下賜の有難き御沙汰を傳 道整

故羅振玉氏靈前に御使御差

遺

國務院食堂興亞の

し皇帝陛下

の思召

(日 曜 木)

閥交史上新たな一

「「赤心の誠を捧げたのである」の時刻全市民は家庭に街頭に職場に一齊東方に向つ機が行はれたのである、感激のこの時刻全市民は家庭に街頭に職場に一齊東方に向つ機が行はれたのである、感激のこの時刻全市民は家庭に街頭に職場に一齊東方に向つ して畏くも宮中に御参入天皇、皇后兩陛下と御對顧、御訪日の御挨拶を述べさせられる日滿一徳一心の契り愈よ堅き歴史的御庭田午前九時三十分横濱港に御入港御訪日の第一步を印せられ次いで同十一時三十分めでたく晴れの御入京あらせられた即ち光輝ある紀元二千六百年御慶畝のため去る二十二日御訪日の途につかせられた皇帝陛下には御船路いと御平安にけふ二十六交史上浙たた一頁を加べる全國民の感激の時刻なのである

に は十二日間でありまして は十二日間でありまして は本二日間でありまして は本二日間でありまして は本に基へない次第で は、ない次第で は、ない次第で は、ない次第で

り、又京都よりは伊勢神が、又京都よりは伊勢神社、多摩陵の御参拜等神社、多摩陵の御参拜等神社、多摩陵の御参拜等神社、多摩陵の御参拜等神社、多摩陵の御参拜等

射機關銃

ブルを節約してその淨財を 新京在住 大連羅紗商賞業組合がサン 新古

新京美協展

す心の雨のしすがま像隆せ遠天に神 司令官、三浦長官、別宮大 事行 長等關係者参列の下に 集行 東方 憲拝、修蔵、 供、親詞婆上の後愛國第 華 あつて正午閉式上の後愛國第 を行漢に、田須同組 を行漢に、田須同組 を行漢に、田須同組 を行漢に、田須同組 を行漢に、田須同組 を行漢に、田須同組 を行漢に、田須同組 を行漢に、田須同組

では稲田二環

上げた日滿

り幾分遅れ今秋になる模様 なつた、航空鷹は都合によ なつた、航空鷹は都合によ なった、航空鷹は都合によ なった、航空鷹は都合によ なった、航空鷹は都合によ なった、航空鷹は都合によ

滿州航空會社本社の新

でる若木の如き第二國民の として聖職に職む全満七千 として聖職に職む全満七千 として産業部大臣から轉身 として産業部大臣に二十六 した呂民生部大臣に二十六 日午後四時から三十分間新 で、京中央放送局のマイクを通

警長 村、志賀醫尉補、長、揚 呂大臣の

神の旺盛さによるのであの放送をなす との民生部大臣としての初

告候也部)は左の通り移轉仕候間此段廣部)は左の通り移轉仕候間此段廣 移轉廣告

左記に依り大運動會開催す御參會乞ふ一、六月三十日午前十時 於白山公園(協和會側) 於白山公園(協和會側) 一、會費御家族御同伴者一 鏡單身者一圓 會津

人諸兄姉に

地で、月世六日 海京特別市長春大街一〇二 海が京特別市長春大街一〇二 福 話 二、七三一七二、七三一七二、七三一七二、七三一七二、七三一七二、七三一七二、七三一七二、七三一七二、七八四二

定價金面圖

の

告ぐ

食料品店にあり P

0

第三部議案國民生活の向上、第四部議案國民動員の完成と四部に分類するして協和會綱領に基き第一部議案建國精神の顯揚、第二部議案民族協和の實現密接不離な常面に横はる重要諸問題がとり上げられてゐるが、これが整理は全國聯合協議會に順應 員會に檢討する各分會から提出された議案は約二百件の多數に及び、いづれも市民生活と催提出各議案について慎重審議することとなつた、第一日は二十六日午前一時より閉會した、議案整理委合る《議案整理委員會》はいよ (二十六日、二十七日の兩日に宜り首都本部會議室に於て閉

ベ並に下酰皇天くし親を詞貨御の祝慶年百六千二元紀が下陛帝 皇 **1**さを

京獣

非進に

かるは

天東

てつ

墨

孫全

は

に

刻

持

御

るれ

らせ

さ 【稿默拜鑑にかるは天東の徒生校學女文華京新は真寫】るせら参げ

首聯議案も重點す

の實現なご

、開幕する本年度首都聯合協議會の前奏曲中最も重視され

びに金一封を授與した、 彰者左の如し 本六月中表彰者 土村警 補、石倉、于警長 では金一封を授與した、

土村警局

正直マ

5 P

現金屆

け・

歸郷に付至急讓度し

電③三七五

五

朝鮮飲食店譲る

木藤、上

の生必品公定價格記入の一 の生必品公定價格記入の一 な近く作成一般家庭に配布 することゝなつた

四部に別けた時

同問

五日午後四時横濱を出航神軍艦アルヘンチーナ號は廿

事モレーノ駐日アルゼンチン公使以下列席の下に ゼンチンから贈られた油 橋の答禮として日本海軍 から贈る七寶焼の花瓶一 個を贈呈、一同午餐をと も個で類として日本海軍 がら贈る七寶焼の花瓶一

滿洲鹽業會社內會

津會幹事

他したアルゼンチンとは出ています。

日亞海軍交驢

七寳焼花瓶を贈

3

各自持參

至高

*

▼會精神に反するも

0)

鑑定者多數の爲

新京深木小學校一年生松平 マヤ子さん(七)は二十五 日午後三時半頃興家大路官 中間十七銭と成島名の印 鑑入革財布を拾つたものか この大金をどうしたものか と子供心に途方に暮れてゐ

仲居 さん 四、五名御希望の方は本人直接御來談乞ふ年齢廿歳以上卅五歳迄

仲

會

H

整理委員は首都本部委員及 で首聯代表中約三十名を以 で首聯代表中約三十名を以 で首聯代表中約三十名を以 をく內容を充分檢制し重點 電調案の內容を充分檢制し重點 素朴純眞性を失はないやう 新足充實し次いで上程、文 をとなつた 又は撤回とする 案についてはこれを保留 実についてはこれを保留

上げた鯉、菊京から屋従申し上げた鯉給宮内府大臣は海上はるかに神武御東征の御東征の御を後と、日本皇室と満洲帝室の御火りいよいよ固きこの日の盛儀に御慶祝の正再した地度紀元二千六百年記念の盛儀に御慶祝の単帝隆大のなるため。皇帝隆大ののの一

軍長谷川報道班長を勢はし 1フを砂窓で一年後七時半より西廣場湖 順天署志の一般では、1カーの一般では、1カーの一般では、1カーの一般では、1カーの一般では、1カーの一般では、1カーの一般では、1カーの

歐洲戦闘は獨逸軍の壓倒的 際利で一時無氣味な沈默狀態にあるがこれが實相につ たて滿鐵新京支社では關東 軍長谷川報道班長を勞はし 順天署表彰式

・既に實行しあるもの若く は實施準備中のもの け 歐洲 ▼會關係讓案中部內連絡に るもの るもの

次歐 洲大戦の 核心 を個 く」と超する講演會を開 は一般市民に公開することになつた とになつた とになった とになった とになった とになった 彰式を行ひそれく、学 表彰してゐるが、二十 次ける成績優良者五名

長谷川報道班長が時局講演 の實 表彰してゐるが、二十 又は横範とするに足る 又は横範とするに足る

賞状並 集に於る者を 十五日 命 場所 定 独問題も即座に解 が成り如何なる が成り如何なる 就 新都旅館

病氣、適菜、方位 正象師責任鑑定 姓名、方位百般

大才 ・ 一道で物を拾つたら ・ は」と父母に教へられて ・ なが事を思ひ出し早速これを中央通署見玉公園前 派出所へ届け出たこの行 第に對し近所隣では「正 では「正 では、「正 では、「正 では、「正 では、「正 では、「正 では、「正 生必品公定

大隆號を

賣

買

價格表

通信競技大會

徹底を期するため四十萬枚 首響經保股では暴利取締の

帕

眞

展

範圍は各管理局の選拔者 信電話株式會社主催の〃第れが練磨獎勵を圖る滿洲電 一回全滅通信競技大會 あす(井七日) 會議室に於て開催す

前線

床しボ

ナス

繞る美談

△大陸科學院會議 於軍人會館一後一時

東鄉元

下閣將少折桑府官武軍海本日 點十數品遺と品絶の獎推御

でま日冊 ◇階七◇

新京 市 中央 通十三番 地

不動產取引所 土地家屋買いたい 人人 利 用 機 關

分東

6

(3)

新版 I sie 二六三

朝

日

樂刊

人と歩いてゐました。 大きなロータリーに布張りの四角な塔が立つてゐました。 見上 げる とそれにした。 見上 げる とそれには「率送」といふ文字が鮮かに讀まれました。滿人の友人はそれを見上げ、ニタリと笑つて私に申しました「アレをかしいですね、ネさらでせう、率送つて言つたら滿語ではパ只で差し上げますパつて事ですよ」によく出てゐる文句が浮んで来ました。所變れば文字變ると申しますが、より正しくは、所變れば文字變ると申しますが、より正しくは、所變れば文字變るとしますが、より正しるとではありますまい

狸こ

れから早速部下を呼んで調

品不足、内地上半期の洋畫 本年度の封切り富興の成績 本年度の封切り富興の成績 を来してないので、 字方古 見るのは興行者の常識であり、また此の再映興行は割 合に成績良好で、二、三番 信はこの手ある為に、どう やら封切館程の情みは感じ で、結局洋霊興行は今秋あ たりから積々邦置に轉ずる こととなる複様である こととなる複様である

変染かつら 世間でまた 一緒けか 一緒けか 一緒けか 一緒けか 一緒けか 一様かつた寫眞は?と云へば 離しもそれは「愛染かつ ら」だと答へる それ程に此の寫眞は好成 でまた 神楽では 健全な娛樂の提供、五族間の文化交流による協和適性 を目指して國策會社供、五族間の文化交流による協和適性 を目指して國策會社構 を目指して國策會社構 を目指して國策會社構 を開始して國策會社構 を開始して國策會社 を開始して。 一郎氏、養塚村平氏、常務取 が、役員は趙鵬第氏が取 一郎氏、曹清潔氏、代田幹三氏 一郎氏、曹清潔氏、田中總 本村三郎氏、東東村新氏、本郎氏、林 本監査役馬氏、護場村新氏 上、東京市氏、林 本院子群氏、護塚村平氏、林 一郎氏、藤塚村新氏 上、東京市民、大田中總 本院子群氏、東東村新氏

で数十歳行と見合のことで、どれだけ儲けたかは正確な處は知る由もないが、前後に知る由もないが、前後に知る中で数十歳所、完結篇と四篇はこの四篇を改録して「改はこの四篇を改録して「改はこの四篇を改録して「改はこの四篇を改録して「改はこの四篇を改録して「改はこの四篇を改録して「改なる、さて如何なる成績をとの方法を質似ては如何なる成績を表している。

すが

一分利信

演

脚本經川伊勢夫



唄ふ徳さん

12'54 4,11 1,14 4,31 1,37 4,54 歷史第一部 11,00 2,17 5,34

廿一日より廿六日まで 一圓

大週 歴史第二部・第三部 ミス・ワカバー行漫才

別り硬立大の標指子洋二不るすけ負額も男

次ふ徳さん 女劍戟三人娘 ニュース 1.74 4.10 1.34 4.40 2.34 5 40 俚 御 殿 12.00 3.06 6.12 10.15 二十五日ョリ二十七日マデ 料金五十銭 花園の天使純情一代男

7.40 8.43 9.18 空

6.53 7.21 7.44 9.38 10.13 3.20 3.55 4.18 ス篇史 12.29 12.52 男實演 2.46 6.12 サー日より廿六日まで 一週 大週封切 歴史第二部 - 擧公開 歴史第二部 田村邦男實演

 三
 12.00
 2.49
 5.28
 8.18

 春
 12.55
 3.41
 6.24
 9.14

 10.20
 二十二日より廿六日迄 料金八十錢 廿七日より 家庭の秘密前籍・愛染河内山

口 切封

長 春

座

奎寅崔· 較漢方

『版本詩』品作社畵映麗高



二研田薄(地築新) 色脚 郎太保木八・りよ方綴の生年四學小





でこの一番お偉い方が製作事をこの一番おしいふ人を呼びつけてあるさすことになつてゐたので、定つた時間にやらなかでいったさらぢやありませんか考とではいけません!」と何有いました。部長さんな事があつたは、おやそんな事があつたたら自分は知らん筈は無いでもな事があつたったら自分は知らん筈は無いでありませんが、とさらするはいけません!」との方が、とさらする。 ホ

作事でした。しかし上の方でああいふのだから、何かあつたんぢやない、オイ、何のかあつたんぢやないかとそこにゐる部下全部を集めてかが、稍あつて解決の緒口が考へ込ませたといふのですが、稍あつて解決の緒口が見つかりませんか」「元れだつたら、確かに定りませんか」「元成る程ソーカッ!」「成る程ソーカッ!」がゐるよ…」がゐるよ…」がゐるよ…」がゐるよ…」がゐるよ…」がゐるよ…」なるるよ…」がゐるよ…」がゐるよ…」なるるよ…」なゐるよ…」なゐるよ…」

場

山廣子

銀座李

れは聞き洩しました。

高

(日 曜 木)

野呂勝はギョ

狂った

地げて、髪振り風して顔色 と歩く姿は、まるで現世の と歩く姿は、まるで現世の から小船に乗り込み、野呂 川を、ビショ濡になつてや つて來た。・ つて來た。・

商帝日滿鐘新大

を拂ひ退けて立ち上つ平太は、突然、野呂勝の

東京株式短期

渡人組へ斬り込んで、命事を的にお藤を敷ひ出さりとを的にお藤を敷ひ出さりとまで、一旦は勢ひ込んだ平太ではあつたけれど、心ばかりは逸つても、病薬けたがりたと、野呂勝に言はれてみればそれも道理と、負うた子に数へられ淺瀬を渡るた子に数へられ浅瀬を渡るた子に数へられ浅瀬を渡るた子に数へられえ瀬を渡るた子に数へられえ瀬を渡るた子に数へられた。

スチール株 五一弗〇〇〇 アナゴンダ株二〇第3、1

华次は、何處に居

四片大分三 四片大分三 四片大分三

加

志之

THOU NOW

●一白の人 働きに安人

る夢 易の日大



彦子子菊子郎郎郎郎二勇



科金

均

七日

同時封切

新京キネマ

一時卅分開映

開映

楽

ミス・ワカバー行



天皇陛下には御宴半ばにし ため御來訪遊ばされた るに對し御禮を述べさせら るに對し御禮を述べさせら

東亚の平和に貢献しつつあること、皇帝陛下再度の御 東亚の平和に貢献しつつあること、皇帝陛下再度の御

皇帝陛下の御健康と滿洲國皇帝陛下の御健康と滿洲國民の努力とにより

親立、今夕の御盛筵 御起立、今夕の御盛筵 御起立、今夕の御盛筵

殿に畏き日満

薫る清

何歡談い

ど御和やか

る態度を 中、佛印など各國の極東植中外に闡 に一大饗革を齎すに至り關村は昨年 對獨伊降伏休殿は世界情勢

野處すべく帝國最高外交方 おける帝國の生存權を職く主たる帝國に至大の關係を して協議を進めて來たが廿主たる帝國に至大の關係を して協議を進めて來たが廿年の職のは東亜安定の盟 針につき四相會議を主體と

地交涉延期日英日佛現

く外相中外に闡明

關

團

局結强調

の御交誼

全將校に訓

の移轉でもほどしたといはれ外力依存の醜態を遺憾なく暴露してゐる(四)重慶側名銀行は六月末までに移轉準備を完了退去せしむ(四)重慶側名銀行は六月末までに移轉準備を完了退去せしむ(四)重慶計在の米使節の下に上海より人員を派の準備をなし一切の重要書類を安全地帶へ密送する(二)佛租界の各機語對策を決議したと傳へられる 要農產物統制 强化斷行 英支國境作為

かないとられる

針がとられるものと兼想産物に對しては大體左の

粗界問題を討翻

完封寸前二

【太原廿六日筬國通】晉西

監視の重要使命を帶びて佛

佛印監視員出發

黄河渡河點占領

五日午後英支國護に沿ひ東北方に向ひ進撃中のわが野 海、長野、小川、岡島の各 部職は坪山坪に突入し二百 の敵を撃破したが廿六日朝 更に敵據點〇〇に向け進汲 英支國境四十キロの完封は

東 地區を席悉、破竹の進撃を 大村、大塚、村川、照井の 各部隊は廿五日夕刻までに が 羅網口、磺縣、開腸村(磺 派東南方十六キョ)石口鎖 二五門等の黄河重要渡河監を

田 側西原少尉以下二十餘名はの外務省側の與謝野、山津南に事務官、駐出フランス大使官附武官チェポー少佐等と機に分乘勇羅羽田飛行場出設、次いで海軍側柳川大佐以下一行も同標旅客機で赴以下一行も同標旅客機で赴任した、一行は臺北、廣東

に皇軍士氣愈よ軒昂

目睫

稻垣本殖委員會事務局長

出荷方策に萬全期す

炎熱下に活躍の砲兵部隊

の面をを用於なれ資合とす時機 機のこ充すで統あ金寸從るは關 関数 1分るの間るのる來統年を

大豆と加工品 本管制度の不備を補ふだめ 事管制度の不備を補ふだめが光づこれを統一し公社のが光づこれを統一し公社のが光づこれを統一し公社の

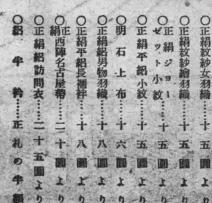
(吉本好太郎氏、平壤資業)同、日本好太郎氏、平壤資業)同、クニホテル東)同、クニホテル東)同、クニホテル

外保田豊氏(鴨緑江水電 根本)同 橋橋岩太郎氏(本溪湖は のででは、 のででは、 のでででは、 のでででできます。 ででは、 のででは、 のでででは、 のでででは、 のでででは、 のでででは、 のででできます。 のでででは、 のでででできます。 のででできます。 のでできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のででできます。 のでできます。 のでできる。 のでできる。 のでできる。 のででをも。 のででをも。 のででをも。 のででをも。 のでででをも。 のででをも。 のででをも。 のででをも。 のででをも。 のででをも。 のででをも。 のででをも。 のでをも。 のでを。 のでをも。 のでを。 のでをも。 のでを。 のでを。 と。 のでを。 のでを。 のでを。 のでを。 のでをも。 往來

この非常時に で御座います 御買物は此の 日頃の篤き ゆる為の大奉仕 奥様に申り 狠



上、大丘は、「○○基地廿五日愛園通」中支艦隊報道部○○基地廿五日午上、大丘は、「○○基地廿五日愛園通」中支艦隊報道部○○基地廿五日午



〇湖月 〇正絹絽帶 〇正絹紋紗女羽

夏の服飾美展

無為替輸移入

北支で許可

型とで新協定の成立時間の問題とされてをり、同協定に 1ター協定は米栗の外新た に変の追加があるものと復

(日 曜 木)

時代」であったといへよう しかもこれ等の特殊會社の 多くは何れも約中類程度は がために投資特別會計等も随伴的に膨 では極力非債券主義とは行政費 を主とする一良會計においては積極的に借入金 では極力非債券主義とは行政費 を主とする一良會計におい では極力非債券主義とは行政費 を主とする一良會計におい においては積極的に借入金 においては積極的に借入金 においては積極的に借入金 においては積極的に借入金 においては積極的に借入金 を主とする一人の形で関係としてある を主とする一人ので各事業又は作業 を主とする一人ので各事業又は作業 を主とする一人ので各事業又は作業 を主とする一人ので各事業とは行政費 を主とする一人ので各事業又は作業 を主とする一人ので各事業とは行政費 を主とする一人ので各事業とは行政費 を主とする各特別會計 においては積極的に借入金 はおいては積極的に借入金 を注とするともつてこれを を注とするをもつてこれを を注とするともつてこれを を注とするともつてこれを を注とするともつてこれを を注とするともつてこれを を注とするとものがその根本方針とせ

二人四三二一金大四三二一一个人

大四三〇十五 九七六〇一四 六七二〇一九数

非常時向特價品専門を致します。

支店 新京競賣所

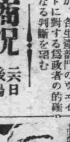
町

三ノー・1

各地株式市次 東 1808 (短期) 大班株式 (短期) 大班株式 (短期)







州廳經濟部長談

仕立

衣裳

吳服と

を食糧品の輸移入に充富す 委員會財政總署で申制により取得される外貨 聯を根絶するため (北京廿五日發國通) 北支 ると共に今後益す

3

社仙

東亜の新事態に對處して日 地から軍用に或は一般陸上 地の使命は益す重大と云は 社でならない、今日その製 品は全浦に普及し、目下全 機能を攀げて工業報國に努

設に資せん











大豆化工役員
大豆化工役員
大豆化工役員
一大豆化工役員
「大豆化工役員
「大豆化工役員
「大豆化工役員
「大豆化工役員
」
「大豆化工役員
「大豆化工役員
「大豆化工役員
」
「大豆化工程

染料 の輸入

合で代

大連船渠總會

ないて第六回定時

賣出

外貨代替制

製料の需給圓滑を期し日滿 商事が新契約品については七月一日より、 については七月一日より、 については七月一日より、 については七月一日より、 については七月一日より大 を要し現在日滿商事の一元的統制下に置 を要し現在日滿商事の一元的統制下に置 ではずに販賣は技術的に相 がれる譯であるが、染料の の機能では可成りの困難が の機能では可成りの困難が ではずに に一次で、同社は発 に一次で、一次で、一次で、一次では一次で、一次で に一次で、一次で、一次で に一次で、一次で に一次で、一次で に一次で に一次 に一次で に一次で に一次で に一次で に一次で に一次で に一次で に一次 に一、 に一次 に一、

朝鮮から麥輸入

ଜ洲からは精白粟

村益金處分左の如し 法定積立金 M10000 特別積立金 100000 特別消却積立金 100000 時別消却積立金 100000 時別消却積立金 100000 1000000 總收入金 ペッペニ 184 差引總利益金 ペーマーズ 差引總利益金 メーマーズ 合計 排線越金 ギベスコース 合計 インボース

配當金(年七分)

金處分案左の如し(單

面(年七分据置)を決定的議夫々承認、當期株主

夏

店內全商品 大見切 引

を無料徴送す

病標為

明石市城北日輪寺

二町野吉

新古衣類

特價洋服洋品

香港を經由するものとど 英國のそれは具體的には 変配のそれは具體的には

な恋 深刻化して來てゐるやう れかどのやうな情勢を招 係の將來も注観されればな恋 機才である。然しながらなほ 來するかは強測を許さな ならぬのである。アメリカのル 外交的あらゆる手段を盡 入れた。スチムソン氏を内閣に るであらう。それがどの時 かる時に歐洲の情勢は急 うが、同氏は夙に知られ ならぬのである。アメリカでは最 とって大いに影響を受けがあ ればこのために政治的、 近スチムソン氏を内閣に るであらう。それがどのかあ ればこのために政治的、 近スチムソン氏を内閣に るであらう。それがどのかあ ればこのために政治的、 近スチムソン氏を内閣に るであらう。それがどのかる時に歐洲の情勢は急 うが、同氏は夙に知られ ならぬ。そのためには援勝 激な變化を示しつよある である。アメリカでは最 よつて大いに影響を受けなつ までもないのである。か 理由によるものでもあら のために遠進しなければな かる時に歐洲の情勢は急 うが、同氏は夙に知られ ならぬ。そのためには援勝 激な變化を示しつよある であるやうに對外强硬論 蔣ルートの遮断のみに止 である。の降伏となり、その後に の對東洋政策については 實施が要望されてゐるの方に 來るものは獨遊對英國の 必ずや發言するであらう である。

程ののいる。 を報せている。 を教え者は海陽監督の無為 大せんとする場合にないては無移入の許可を受くべきこと イ、日満より物資を総移入の許可を受くべきこと イ、日満より物資を総移入の許可を受くべきこと 大せんとする場合 は聯銀券資法性のかり表別の地域より なほ旅具及び引起荷物、自 に基き聯銀に對し無為答金にて中 が後二ヶ月内に限るとする場合 に基き聯銀に對しが第三國より物資を総移 を要せず、また聯銀の新聞監督の無為 に基き聯銀に對し無為答とにて中 で要せず、また聯銀の計可を要 は許可申請をなす場合とする場合 に基き聯銀に對し無為答とにて中 で要せず、また時のかりまり物 に基き聯銀に對し無為答とにて中 を要せず、また時の計可を要 に基きが銀の新可を要 に基きがより を要は、または許可をの無為 を要せず、また時のもとする は許可申請をなす場合は での許可申請をなす場合は でのより物に限るとにな でのより物に をという。 をという。 をといては無為をといては をという。 をといては がは、または により をという。 をという。 をという。 をといては によったは により をといる。 をといては により をといては により をといては により をといる。 をといては により をといては により をといる。 をといては により をといる。 をといては により をといる。 といる。 といる。

を受けずりを受けずりを受けずりを場合は無關監すを提出するにあらざれば海を提出するにあらざれば海で北支の經濟界の正なったが右は質質を大なるもの。

質的貿易管理

切望してやまな と風化せれが推刺 など現化せれが推刺

が出来であられるのですが、それでありない。 が出来でありながら實際のですが、それであり形がら實際のですが、を がのですが、と でありがら、 でありがら、 ですが、 でするないがってすが、 ですれぞのの形 がのですれぞのが、 それずれのがらない。 ですれぞのが、 でも生

食:物 については特に 法意なさることで、 霧敗し 場い食料品はなるべく使は ずに、あつさりしたものか 煮て直ぐ食べられる様なも のにするとか、製造元の不 明な古くさい維詰などは使 用しない事で、ついでなが ち下着類は殊更まめに洗濯 することも此の時季に起りますることも此の時季に起ります。

質で、繊維が吸着されるとれないもので、これをなっていいますが

住一宅 難でこのせまいりしては、御飯が進まないりしては、御飯が進まないのも無理はないかもしれませんが、 難々とした氣分、下してゐる時を無事に過さ

仕事が出來ぬ では、 ・ にしたら ・ には、 ・ には

も無く相成り申候さしも水気の皮膚病を不啓(肥略)第一回空観楽の分離らんと



洋服 われ手拭は不必要

現は薬と煎汁とをお風呂に 出した汁をつけてもよく、 出した汁をつけてもよく、

な様でなるない。 をリリーブ油でねつたもの オリリーブ油でねつたもの オリリーブ油でねつたもの オリリーブ油でねったもの がある。 としておきます としておきます。

雨よ降れ降れ 防水液で大丈夫 簡單なその作り方

すに、あつさりしたものか 煮て直ぐ食べられる様なも のにするとか、製造元の不 明な古くさい鑑詰などは使 用しない事で、ついでなが ら下着類は殊更まめに洗濯 の一部を强くキュッキュッ ものは指端が青く染まりま せら を見分けるには、指の先 を見分けるには、指の先 の一部を强くキュッキュッ とこすつて見ると、染めた ものは指端が青く染まりま でも期かに保つことは精 す、また太陽の光にすかし でも期かに保つことは精 す、また太陽の光にすかし でも期かに保つことは精 すっまた太陽の光にすかし でも期かに保つことは精 すっまた太陽の光にすかし でも期かに保つことは精 すっまた太陽の光にすかし でも期かに保つことは精

できみ通らなりますし、できみ通らしたり乾かしたりをいれなくなるのとなります、満らした時中まなります、満らした時中まなります、満らした時中まなります、満らした時中まなります。 対したら直ぐ故になりません (三)・・・戦は 濡らし いつたん聚滅し

のるのです 個このみに加へ一

おろし大根へ しませらか融く高へば、やせ現機と限しませらかないとなれ触く観晰申し候、寛は四年前よりの難病にてできれたのの動物を対していませらかない。

難でる宇宙教し、それより十日目の現在では、の職院際の手書と異なり四五日目より目に見

るにたりとた

かりますもので一般動法を実際に が動核に断線、配数の上継続が を禁め方はお手数ながら左右を を禁め方はお手数ながら左右を を禁め方はお手数ながら左右を を禁め方はお手数ながら左右を を禁め方はお手数ながら左右を を禁め方はお手数ながら左右を を禁め方はお手数ながら左右を を禁めた。 を対しまして を対しませんから、 のではませんから、 のではませんがらない。 を対しませんがらない。 を対しませんがら、 を対しませんがら、 を対しませんがら、 を対しませんがらない。 を対しませんがらない。 を対しませんがら、 を対しませんがらない。 を対しまたない。 を対しない。 をがしない。 を 仙壽療法は

日本の新黨運動 東邦彫塑院會員 廷 吉田叡示氏談 であらうと考へられますであらうと考へられますが、第三は軍と政治の関係退かが信望を失つてみるとは一つの整備といふことは一つの整備といふことは一つの整備といふことは一つの整備といふことは一つのを構定といる前望を失つてみられます。 が信望を失つてるるとは一つは関長の ませら。 本にともあれ、蓄来の関係選び が信望を失つてるるとさいる前題でありませら。 ながまましく生れようとするが表に對しては関長の を対しては関長の が信望を失ってなるときない。 ないるでありませら。 でも是非とも必要だと思ひ 多忙な建設的な満洲に於て 内案の容美

鼻の頭

おぬけしない梨地の肌でも でない。 ただくづれも根本的に防ぐ にとが出來ます。

黑砂糖を

設解事時一

のは差整へたいものです。 消化作用は精神のはたらき に支配されることが多いの で、好きな物を食べた時は 樂し 食事中

子供を叱らわ

消化がいムのです つまり子供が機嫌のい 時は食べ物の消化がい く愉快にするやうには 下さい し樂いいてしょう

わかめの 見分り方

潔にすることです

子かつた皮を

各種 麗 教 麗 偉 機 修理 完全に ! 迅速に ! 廉價に ! **山菜 奇 舎 無 線部**

したが、此れでもどうかとは思

學智大路 零誌(2)1573 🛩

は、 生ゴムが多いので をするないで、 でいるるので酸化は をますから必ず水洗 であるので酸化は ますから必ず水洗 のません、とりわ のません、とりわ

點ぬき

は、 カビは種類が多いでは、 大大のでは、 大いのでは、 は、 大いのでは、 大いのでは、 大いのでは、 大いのでは、 大いのでは、 大いのでは、 大いのでは、 大いのでは、 大いのでは、 かいのでは、 かいの N出して手の付け織るなくトウート映影になっても派其所此所に のでは、一味歌になっても派其所此所に のでは、一味歌になっても派其所此所に は四年前から

の悪も赤酸化してホト (困りした。此れが一瞬々戦の難でそ 効く健静療法のある事を知りま

洋傘、

ム靴など

雨後"

はないかと思います。 はないかと思います。

若い頃からの 皮膚病が漸く治

股に倒好し照覧の皮膚痛は全治 形に倒好し照覧の皮膚痛は全治 形に倒好し照覧の皮膚痛は全治 が困りの方に 湖月ボー 十五圓均一

この芝居の ついての ついての

はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で はなく高いお追樂で

で費つてしまつた を借りてやつたのですが、東京関のですが、東京関の を関だかに十萬圓

に (一圓五十銭)を び 任あるものを作り び 任あるものを作り び 任あるものを作り が 任あるものを作り が 任あるものを作り を 組合の芝居は今度 が 六回目で事變後 中止してるたのを 中止してるたのを に忠臣蔵、安達原 に忠臣蔵、安達原

ってエ

5.

2

2

女ですもの

は

から

8

国新キネで封切になつた日 で成如」の猛稽古が初まつ で成な。 眞如と言ふのは有 では先 のなが映畫では先

上の女劍戟を展開す

會

文劍戟を展開するあた の源治郎が不二洋子以 の源治郎が不二洋子以

と刀が鳴つて若葉クンが流やつ、チャリン、チャリン、チャリン、チャリン、チャリン

岩葉ク

間

ルン女子は十八、九なりこですとは、構吹く図の女のでを、酒と繁煙に身をする機能は、男の心理でいかにで、 異の心理でいかにで、 異の心理でいかにで、 異の心理でいかにで、 異ない。 とも詩ともつかぬ女治哀歌を暇り書きした難誌が足下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の時間を確らして來で見れば

……筋は若い浪人襲 貝數馬(映畫では尾上菊 太郎)はお辞、深水康子) と何もかも許し合つた仲 であるが何被か母お節 (常盤操子)は許さない (常盤操子)は許さない をこへある日仇を探す後 藤源治郎(原健作)が腹 藤原治郎(原健作)が腹 がしため とのしたがでした。

大、一八(大連)入港船の大、二〇(新京)建國體操大、三〇(東京)ニュース、三〇(大連)中等滿州大、三〇(大連)中等滿州大、五九(東京)時報(新京)天氣豫報(新京)天氣豫報(新京)天氣豫報(新京)天氣豫報(新京)天氣豫報(新京)時報(「社會事業の先覺者を語る……石井十次翁」。 3

大九九八八 (ロ) 田園 (ボース) (ロ) 田園 (ボース) (ロ) 田園 (ボース) (ボース)

四三三二、一一〇、高オト舞(1曲物)、〇〇〇五五日三〇三木オラ曲コリニ語語の〇〇〇〇五〇瀬〇五〇和1〇里の作。〇三五 ○ (秦天) 經濟市沿 ○ (東京) 婦人の時間 三 (東京) 婦人の時間

七、三〇(東京)國民歌 一、滿洲國皇帝陛下率迎 同)陸軍戶山學校軍樂隊 (作曲) 二、交廢曲「關 花の頌」白鳥省吾,謹嗣) 花の頌」白鳥省吾,謹嗣)

小津安二郎の

佐分利信

桐本館川伊勢夫

歸還第

九、三九(東京)時報、ニュース、三九(東京)時報、街知事項、明日の「新京)今日の「三〇(新京)今日の「三〇、三〇(新京)今日のの時間(露語)

出はいりできる裏店銀行を 開業致しました、之を聞い た長屋の連中を始め職人仲間は續々と押しかけてきます、馴れない仕事に八五郎 舞し、又お客さんの方が無 作落語裏店銀行のお笑ひ

何か國家の為になる商賣を 始めやうと八ツあんと能さ りました、と申しましても りました、と申しましても 普通の銀行では柄にないの で裏通りで氣軽に印料機で

十、四〇(東京) 大、田〇(東京) 諸漢「持 八、一〇(東京) 落語「裏 八、二五(幸天) 尺八獨奏 本助「落薬」山下屬堂 本助「落薬」山下屬堂 本助「落薬」山下屬堂 中村吉右衛

間 物語 「続持たぬ勇間 物語 「続持たぬ勇士」(三)「宣撫班」中土」(三)「宣撫班」中土」(三)「宣撫班」中土」(三)「宣撫班」中土」(新京) 雷樂講座六、五五(新京) 告知事項、今晩か新組

U

る

五四三九〇五

(東京)經濟(泰天)經濟

る

E

(率天) 經濟市況

東京放送管

(後八:10)



2

44444

楷古場に見る珍

汗だらけの

るの「黄都

貴昏地臓」がそれであるの新進田崎浩一監督

て軍警慰問、國防献 十八の三日間に亘つ 十八の三日間に亘つ

な迷海拉爾忠護塔建 を以て厚生會館に於 を以て厚生會館に於

風景

大會」を開催することになつたが、萬全を期するために稽古

ΔΔΔΔΔΔ

銀波の二階を訪れた は稽古場カフエー 者は稽古場カフエー

て死れと言ふ、自楽になかかから、源治郎にお節は悲しみをいってしまふ、数 を原文郎にお節は悲しみをいった数馬に瀬治郎に動りたくなかつた をいってしまる、数 を明りたくなかった。 をいってしまる、数 を明りたくなかった。 をいってしまる、数 を明りたくなかった。 をいってしまる、数 をいってしまる、数 をいってしまる、数

船城戶所長と懇談決定

映畫へ

松竹大船小津安二郎監督の 藤潭第一回作は日本の道義 藤津中であるが、今月未に は脱 の運びとなつた、役 は脱 の運びとなつた、役

が映畫化の候補にのぼつて

び上る、前がパット観れて が上る、前がパット観れて が上る、前がパット観れて が、眞船豐の戲曲「遁走譜」 表されることになつてゐる 表されることになつてゐる 正夫と彼の主宰する演 ・ 場一篇の映畫出演は、 ・ 株大船城戸所長と井上。 出演する筈、同、クラ 大船スタア が應接の 大船スタアが應接の

マーガレット・サード監督、マーガレット・サールフランク・ボサー

少年時代を描く指導的作品 の製作を計畫してゐたが態 は「少年金次郎」と題名決 定、山内俊英原作脚色演出 で撮影開始の運びとなつた 金次郎には大都の名子役岡 部彦一が扮し八月第三週封

D

0)

少年二宮金衣郎

大都 新作

したたる機な若衆になるだ りう名賞曾平太になる信子 クンはこの芝居の引立役だ から一番難かしい、芝居の 達者な人でないと動まらな いのだ、女が男役をする場 になる信子

いか、大體變な所を無にするからいかんのや」「だつるからいかんのや」「だつて 美にしなくなつたらおしまなだわ」などを變ちくりんな問答さへ繰り返す始末、數馬さへ繰り返す始末、數馬さへ繰り返す始末、數馬さへ繰り返す始末、數馬

谷社長の大奮發計畫

が脚本探

萬圓

ナチ的作品「脱走」

「……あの人といちやつく時を地で行つたら良いんく時を地で行つたら良いんだっ」と野大られていじらしくも額を紅らめ数馬と抱き合ふ場面になると真つ赤になつて「うち、此處は好かん」なぞと言び出す騒ぎかん。なぞと言び出す騒ぎかとが腹痛を起す場面はまるでお産の時を想ひ出させる様な恰好………へと言うても當人たちは至極度言つても當人たちは至極度言った形で、いったが、光

映畫と 映畫の る 思つてをります も研究の上競表したいを は近 とになが、細かい案は近 を見したが、細かい案は近 を見したが、細かい案は近 とだけは決

之脚色、壬

煉瓦女工

各新劇團大學出演

切封

長

座

南旺第六回作

成の豫定であるが、更に提携第二回 作は細 田源 吉作 工」に次く初秋の大作として高木孝一監督で着手する 南田、第一協園の第二作 第一協園の報定であるが、更に提携第二回作は細田源 吉作 現の報定であるが、更に提成の確定であるが、更に提成の確定であるが、更に提供第二回作は細田源 吉作

健康なメロドラマ 以來滿一年振りで初秋封切

「放本日」品作社畫映麗高

二研田薄(地樂斯)

(日 曜 木)

問

B

でそんなら、 でそんなら、 でそんなら、 ででんなら、 ででんなら、 ででんなら、 ででんなら、 ででんなら、 ででんなら、 ででんなら、 ででいてくれ」、 母は衰 はまる。 でいてくれ」。 のは、 でいてくれ」。 のは、 でいてくれ。 のいった。 でいてくれ。 のいった。 でいてくれ。 のいった。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

なく歸った。 なく歸った。

京

や目的や、自分をおいます。

來たことがある。まさ内されて自分の室にや

に於ける今後の興行界に對する御意見といふか見透したいふか、一體どんな風に投ばれるのであるかといふとだけでは貴下も困るであららから、映畫を拔きにした所謂、芝居と色物興行とた方か早いかも知れないとした方か早いかも知れないと

とだけでは貴下 た所謂、芝居とた所謂、芝居とた所謂、芝居とた所謂、芝居とた方か早いかよた方か早いかよった方が早いかよった方が早いかよってドドのことであつた。

海婆協會(1)

記

対った様な気もした

たの

谷



又叔父が

してや現代のやらに七 に類する書物が氾濫す に類する書物が氾濫す に類する書物が氾濫す を要するのである。 の筆者は書物を讀む術 らないらしい。から言 たないらしい。から言 たないらしい。から言

の夜の風とほそき」

(IL)

なだれ込んだその光に影は軸せのぼつていった。 なだれ込んだその光に影は軸せのぼつていった。 島は繋りつ空に南風をみつけた。 島は繋がり空に南風をあつけた。 鳥は響を撃がておより 南風は何處まで來たのかと。 鳥の繋を呼んでみよう

と、指を口に突き それより早く、 白崎海紀

今夜だけ私の類みをきいて た、此の前の筆人も椎葉さんが買って下さつたのよ。 なが買って下さつたのよ。 なが買って下さったのよ。 なが買って下さったのよ。 ・喚きたてた。 間にか椎葉が寄っ 母と私は再び床に入つた 「お前は私の事は何も考へ てくれないのね」 「お前はもつと親切な子か と思つた」 母は愚痴つぼくそんな事 母は愚痴つぼくそんな事 を繰り返した。」 を、唇を噛みしめてぢつと が、一年に一度、盆にだけ 集まるのが習慣のやうにな つてゐた。母も大抵盆には 節つて來た。そして、其の 時も歸つてゐたのである。 翌年の盆の夜の事で

もしないでむやみに押込め はならないばかりか、かへつて胃をわるくする。 前記の愚論に對して、五 前記の愚論に對して、五 北村職大郎氏が反駁文を書 いてゐるが、これを通讚するに氏が凝面から湯氣を立

ひ浮んだ。
北村氏ともあららものが
北村氏ともあららものが

二日目の双葉敗れてゐる間に歐洲戰爭は軌道に 乗りつ をいふ といふ といふ くも白き飯食ふ(遠足) E 母の断 五

は再び床に入った がめたのか、間ものつてゐた。

「満洲ロマンか 満 州バカであた。この筆者は私の祭がよるところでは、二十前後の故もあららが)人であらりと思ふ。 き物を讀むのはものを食いるのと同じで、よく噛んで食べればわづかなもので である である たしか五月十三日の哈爾

の何よりの築養素なのである。この筆者の對照とする 長台川 氏の「建國文學私 長台川 氏の「建國文學私 に、なるほど文章はた ど/ しくはあるが、氏の に、なるほど文章はた と/ しくはあるが、氏の になものである。 この籤者ばかりでなくか うした狂氣じみた愚文は新 うした狂氣じみた愚文は新 之は誰もが一度は通り、 通つて來た一時期である。 頭心と征服慾に燃えた若い 人達は自分より上には何者 の存在も認めない。何でも 後でもやつつけて見たい。 付けたものと滿足してみな くても、それで自身はやつ つけたものと滿足してみる 幾年かたつて振返つてみ をと一等よく判ることであ る。可笑しくもあり冷汗も

下ドのつまりには 内に成立する満洲 内に成立する満洲 内の来業計畫の内容 あつたのである。 は聴いたのみでも 人の來訪者の質問

田の際は、もう涙さへ含んでゐた。 「生意氣言ふなつ!」 叔父は狂暴になりかけてゐた。 私は隣室で、次に來たるも 聞に

母の硝子を割る時のやうな疳窩い際と、お父の百雷の一時に落ちる時のやうな大きな際と、どちらが先だったか分らぬ程、私は真正面から叩きつけられたやう

現下の貴重な學感欄を、から言ふ子供の口喧嘩の如から言ふ子供の口喧嘩の如 マインのに拍手を送りなが かけて、軍艦行進曲のリズ かけて、軍艦行進曲のリズ かけて、軍艦行進曲のリズ

それもよろしからう。さうしたものが新京での一風流であるかも知れぬが、ニッケバーラーのコーヒーからケ栗ビル地下食堂のお酒から文學が生れるであららか勝くとも現代の満洲に於て文學するものと言へば、て文學するものと言へば、

治療法によられよ

創業二十年信用を賣る店

の御用は澤山

山口の自轉車代理店

であるか、否かがのであり又それを のであるか、否かがのいます。 であるか、否かがのであるかがのであるか、否かがのであるか、否かがのでありています。

派はお前だし

一まあ話は到りましてありますから、本 人がらか~ 手を出 人がらか~ 手を出 たいとも深く凄んで といとも深く凄んで

ることで 起織のも

であって いるのであればいってある。 はないのであればいのである。 はないのである。 はないのである。 はないのである。 ないがこ

はれたならば別にこれとしたさく、値かに永い間コットなく、値かに永い間コット大夫元や、アトラクションのと居や、アトラクションのと表きとなつて、所謂顔でめたさいまでも、自分の縄張りとして権利らしいいム額の権力をもつてある連中である。とを喰つてゐるのである。となって、所謂顔でめた。となって、所謂顔でめた。となってある。一方をもつてゐるのである。となった。以来た所で君等の社會に、清州でもこんなのが一つ出来た所で君等の社會に、清州でもこんない。

手を出さぬ方

死安 つ行る でく

ユーギニヤ探検記 外を訪ふ 逸の猛將ライへ 逸。銃後勤勞奉仕小 荒野 恭來 間 イヘナウ重対 を辿りて戦 0 張ら日本翻 ぶか・長谷 薬良病; 淋病 京樂生堂HS線新京渡院 出征兵士を送る歌 其他の慢性諸病 を六番まで全部覺えて 出征·入營の 力强くお唱ひ下さいく

皮膚病良藥 7 ● 殺菌作用で 間、二個 、 一個 、 一個 、 五十篇、 五十篇、 五十篇、 萬一品切の節は 収飲作用で ム水は 作。澤流



に浸してから穿 耐久力の 電線病 スク・人絹靴下は必ず いてど覧なさい 特殊関のよるノーリップ 三倍强化 末卿・三包入地 六五セン 左鎖・ソツクス・下着 060800 金寶二十八日まで 平三中本非



見送

りには

各案を慎重檢討

首聯議案整理委員會

二部各職案二十三件を決

上に力强く掲げられ銭道愛ーガンが銭道沿線民衆の頭

奉公隊愛路班

廿九日輝かしき誕生

じて糧穀會社の盛力を求め

潤澤に配給す

高粱粉を

マルさんの零献により で高さ廿八尺直徑二尺 大寸)は昭和十年五月 に當時中央ホテル(兒 玉公園前)經營主松原

建てられたものだが、 今回松原さんはさらに 大きく立派なものとの 念願から先きに神社へ 高さ三十三尺直徑二尺 入寸の花崗岩に本郷き をかけたものム率献方

日朝から舊鳥居の取場 場げされ四五台中には 場所に到着すること A で、大和通河 大和通河 大和通河

園の婦人用白靴 一片の調査の際棚の上の木箱 地無職張烱徹(三四)方に 一月口調査の際棚の上の木箱 に不審をいだき取調べると 解系女子用白ゴム靴十四足 を發見、去る四月から朝鮮 を發見、去る四月から朝鮮 でである。 一月の関密を行ひ一足 一月の関密を行ひ一足 一月の関密を行ひ一足 一月の関密を行び一足 一月の関密を行び一足

貨住宅を求む市内三間以上にて適當の物御幹市内三間以上にて適當の物御幹

満系大衆へ

七月から砂糖を廉

くします

編布の園商二件 二十五日午後中央通署經濟 保安係では東三馬路老市場 二〇號綿布商天益成こと李 春方(四〇)同二三號綿布 高恒記億こと李玉如(四六)

てあます 生活に貢献したいと考へ であます

ことを探知し一先づ留置のの兩名が暴利を貪つてゐる

である(倉賃は新警士の訓を登攀、消火の基本訓練の経本訓練の経本訓練の経本訓練の経本訓練の経

甘黨の

菓子の統制も計畫

で、今後甘薫を償ますやう。れるわけである

「大田園八十銭▲白教(百斤秤賣)二十十一、1 「一個別、十銭▲白教(百斤秤賣)二十一、1 「一個別、1 「一個」」」」」」」「一個別、1 「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」」「一個」」

新京神社の鳥居が

大きり

謹話した

たのは南支那海一帶が未 の航海で

大佐は日向艦上で左の如く 時御召艦日向艦長原田清一退艦直後の廿六日午前十一 「横濱簽麟通」皇帝陛下御 颸 虔な御態度 だ霧の最も多い時期にあることが出來ました、大連港でも出来ましたが、極めて短時間前までは門尺を辨が無いましたが、極めて短時間があるとが出來ましたが、極端快な航海間で順調なしかも愉快な航海間で、二回は濃霧に遭遇を対したが、極端に、海に天佑とはれ渡りましたが、極めて短時間があるとが出來ました。 田日向艦長謹 せ

上取講べを行ってゐるが、 同日朝李春方は粗布、鶏龍) 十八錢五厘)を百八十四圓 (一尺九十二銭)で近郊の

一臓で農夫賈俊 公定十七銭ご計 公定十七銭ご計

成完造改部內

敬農愛耕運動の序

店開 B

電話〇三六〇九

地左の通り移轉仕候間此段廣は左の通り移轉仕候間此段廣 移轉廣告

目科業營

其他材料一式

備上新

疊表

京曜町三丁目十八番地

見玉疊商店

電話3 ニニ九〇巻

表床替

新京特別市長春大街一 0

御知らせ

開

查委員會

許勵披

丼う壽御 な 料 物ぎ司理 (2)

六九五

六

電

奥安大路の 院三源前號藏

はたります。 はたります。 はたります。 はたります。 はたります。 はたりはことは、 はたりだけれた。 は、あれでなかくすいもかからさばけたおった。 なまであのなつむをみているかった。 ないでもなった。 ないでもなった。 ないでもないでもないでもなった。 ないでもないでもないでもないでもなった。 は、こははいた。 は、こははいた。 は、これでないでもないでもないでもないできませら。

第貨店 雑貨店 本至急安達街一二五架木 本至急安達街一二五架木

鑑定者多数の為

二十日迄

河 安 機 店

店店店店店店

新京特別市大同大街

洗しキット幸福に が開題も即座に解 が関連を関連を活

康德

滿洲國新

今段補州國政府の御方針に遊ひ主要食料品國内製給の一元的統制を期する総済州國政府の御方針に遊び主要食料品國内製給の一元的統制を期するに財來信舊の御眷顧を賜度此段御挨拶旁々諡告候也に財來信舊の御眷顧を賜度此段御挨拶旁々諡告候也、七月一日より弊社に於て右各市場の御蜜業務を經営し同市場會社の有せる債權、債務は一切之を繼承すー、取引方法に就ては差當り從前通とするも市場本來の使命に對應し漸次之が改善に努む

京大和通り七四 眼鏡と 眼鏡と双眼鏡は 中山眼科 医院専屬御指定中山眼科 医院専働物にませんか新京市立病院眼科 座いませんか 新京市立病院眼科 の 岡田 で かん いんします 牡丹江中央卸賣市場株 新京特別市中央卸賣市場 株市 央卸賣市場 株市 央卸賣市場 株 走 (3)



場所

姓名、方位百般 招性、家相







マ簡易をはいった。 ・ であるは、 ・ である。 ・ 中 ・ である。 ・ である。 ・ 中 ・ である。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ で。

(1)

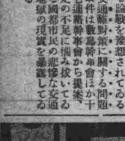
催した、先づ委員長に省五 職本部長、副委員長に寛城 子連絡幹事長岩間甲斐之助 氏を決定、直ちに顧案審議 に移り、提出職案二百件に ついてその内容を巡修審議

中心議題

かに凌駕して二百件、こ本年度の提案は昨年をは

強想される

議案を十九件、第二部民族 協和の實現に闘する調案四件を映定午後六時散會した 彼いで第二日は二十七日午 後一時より閉會、育聯上程



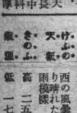












多見ま吊衣と言ふ。 のコーヒー関に働いてゐるのものであると、ブラジル のまり地平線の彼方迄自公

なしそれだけの事 やれだけの事

が が が が が たやうに子供 の で を の に 子供 の に 子供

腸炎後の衰弱に

足腰も立たぬ幼兒が (岩手熙鵬澤都衣川村) 橋 本 こ しかし逃院してはみましたも 私の透び 足臓もたいの有機で、どうして 「鰹蝶れた 近週りの元気な子供にしたらよ もい、町 相でなりませんでした。ある人 した。そ たが、同じヘースエ 麒漑 なら つてをり で呼吸わかもと」がよいのでは 事に過ごなり で呼吸わかもと」がよいのでは 事に過ごなり で呼吸わかると」がよいのでは 事に過ごなり できない 同じヘースエ 融減 なら つてをり

古本買入一冊の本も貴重な資源 印刷液帳簿 三友社

電話8 三四二點

大學院 規則書進星 が京朝殿路一〇五號 が活タイプライター 添洲直賣所

賦販賣

授業年前、午後、夜間

話 見岩 電 話 金 四ノ一十目丁三町築永 前校學小島八 番七三一三・3 電

宋松接骨院 (中央通警察署前)

迅親速切 安便信 九二九三②電



式 株

カメラ修理 が メラ修理 製造販賣

をり茶園 本茶道具は

電③二四八二 殿**兄弟商**会

看板 盤裝 號四九路經大京寺 每三六一二2話書

旭金剛型



からす。しかし通常は姙娠三ヶ月末 は、果養が非常に養べ、心臓はいと、果養が非常に養べ、心臓は

WHTHALX が脚気に幅つてるが、いものですが、事質は決してさらい。 がかりではありません。 最近、京大その他の病院で調査の した職によりますと、眺くを聴してさらい。 を不注意に適しますと、終には衝

果があるばかりか、その他質問 ×島田の貝× を欠夫にする配 ピタミンBの給減として著しい好 この薬はピタミンBを含む

顕領の関防が世来、また顕領に確認が用よれば母乳の質を良くし、

新京大猫病院

牛乳一合八錢

電話2カシミロ

牧場

和泉町三電3五二二〇

排水・下水修器

(8

たのは、友人の藤宮大尉

灸鍼

電3三七三六番 東二條通交番前 市光堂療院

多し御用は専門の當店に限 第土町二ノ一五 生好堂 3 五四六七







治



(1

車発着表

田源太郎と奥江良夫教護院へつれかへら

等はからして防ぎます

れる程のピタミンBを含有して展像には生物中間一の豊富さと云は

また脚気の弾防

カメラ修理 対象選座 を高真機店

脚氣、腎臓炎、

東に配慮炎に對しては、個内版 で、名方酸に亘りが果が及ばさ 標と、名方酸に亘りが果が及ばさ 標に、名方酸に亘りが果が及ばさ で、名方酸に重りが果が及ばさ がます。從つて概喩中の御郷人が れます。從つて概喩中の御郷人が

るためにぜひ茶飲かされぬ戦闘で

新京市中北通十三 新京市中北通十三 新京東(昌公所

事結開調查

母親が健康でも

多量のビタミンBを要求

は、では、大人のビタミンBの機学動は機はしてことはありませんが、大番では、大人のビタミンBの機能であることが影響しました。

「動態であることが影響しました。
「ない、大人のビタミンBの必要をでして、機能のあるとは著しく異つてる。これは一見不合理のある後でしてはぶだんからビタミンBを含むで、大人のビタミンBの必要をでしては適響にお乳の中にビタミンとが影響した乳気の場合は地質に関うたる事が大切です。
「ない、大人のビタミンBの必要と、一人の経験と対して、最も職場に関するの必要をとは著しく異つてる。
「ない、大人のビタミンBの必要をではありませんが、大番では、大人のビタミンBの必要とでは適等にお乳の中にビタミンと、一人のビタミンBの必要をでは、大人のビタミンBの必要をでは、大人のビタミンと、「対象の場合は地質に関うたる」と、「対象の場合は地質に関うたる」と、「対象のは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、大人のビタミンBの必要をでは、大切でする。

「ないった」とは、大切では、大切でする。

「ないった」とは、大人のビタミンBの必要をでは、大切でする。

「ないった」とは、大切でする。

「ないった」とは、大力のでは

ひられ、一般家庭に推奨されるの は若紫(わかもと)であり

古光堂療院

特效薬安心散

日本總領事館東側 新滿商事

木炭の 敕正 骨 專問 中央通り

第210八五自疆會 電210八五自疆結婚媒介部

お米こ

第行 茶と

西五馬路大經路入口岩田屋 魔流品専問 アル 関流品専問

事務代行用を推議へん番地

かし布園がた